

# 精神科研修

## 精神科ローテーション研修目標

精神科領域の代表的な疾患・検査・治療法の概略を理解し専門医に引き継ぐまでの処置を行える基本的な臨床能力を身につける

### 経験すべき診察・検査・手技・治療

1. 精神科的医療面接法を説明し実施できる
  - ① 患者の主訴に基づきコミュニケーションをとることができる
  - ② 家族歴、生活史より患者の全体像と背景をまとめることができる
  - ③ 精神的、身体的現症をとる能力を身につける
  
2. 検査の適応と結果の解釈を理解できる
  - ① 神経心理学的諸検査の基本について理解できる
  - ② 脳脈、頭部 CT、MRI、SPECT の判読に必要な基本的理解を理解できる
  
3. 精神科症状・病態・疾患を経験し鑑別診断ができるように
  - ① 不安障害（パニック障害など）の診察ができる
  - ② 気分不調（躁鬱病）の診察ができる
  - ③ 統合失調症の診察ができる
  - ④ 外因性精神障害の診察ができる
  - ⑤ 痴呆（血管性痴呆を含む）の診察ができる
  - ⑥ 身体表現性障害、ストレス関連障害の診察ができる
  - ⑦ アルコール依存症の診察ができる
  
4. 精神科症状の確定診断後に治療計画をたて実施することができるように
  - ① 向精神薬療法（抗不安薬、抗精神病薬、抗うつ病、抗てんかん薬、抗酒薬など）の基礎についてのべ実施できる
  - ② 個人精神療法の基礎を説明できる
  - ③ 集団精神療法の基礎を説明できる
  - ④ 家族療法の基礎を説明できる
  - ⑤ ECT の基礎を説明できる
  - ⑥ 社会復帰活動を説明し指導に参加できる
  - ⑦ 作業療法を説明できる
  - ⑧ 「精神保健福祉法」に基づく入院形態や行動制限について説明できる